

環境

サステナブルファイナンス

方針

戦略とリスク管理

- 戦略
- 背景
- 環境認識
- リスク管理

取り組み

方針

当社は2018年に海運業界で世界初のグリーンボンドを発行し、2021年には日本初のトランジションボンドを発行するなどサステナブルファイナンスにおける先駆的な取り組みを行ってきました。今後も事業におけるサステナビリティを資金調達面から支えるために、より一層サステナブルファイナンスを推進し、サステナビリティ経営を土台とした成長戦略を幅広いステークホルダーの皆さまに認知いただくことを目指します。

※サステナブルファイナンス：環境、社会、ガバナンスを考慮した資金調達や投資の枠組み。企業や投資家は、持続可能な社会の実現を目指し、グリーンボンドやESG投資を通じて社会的責任を果たします

戦略とリスク管理

戦略

当社が2025年2月に発行した「グリーン／トランジションファイナンス・フレームワーク」※に沿った資金調達を実行し、船舶の燃料転換や運航効率の改善などをファイナンス面から後押しすることで、脱炭素化を着実に推進します。

※当社は2025年2月に策定した「日本郵船株式会社 グリーン／トランジションファイナンス・フレームワーク」に基づいて、サステナブルファイナンスを進めています。このフレームワークはDNVビジネス・アシュアランス・ジャパン(株)より、「グリーンボンド原則2021(ICMA)」、「サスティナビリティ・リンク・ボンド原則2023(ICMA)」、「環境省グリーンボンド及びサスティナビリティ・リンク・ボンドガイドライン2024」、「環境省グリーンローン及びサスティナビリティ・リンク・ローンガイドライン2024」、「グリーンローン原則2023(LMA他)」、「サスティナビリティ・リンク・ローン原則2023(LMA他)」、「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック2023(ICMA)」及び「金融庁・経済産業省・環境省クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針(2021年5月版)」との適合性に関するセカンド・パーティ・オピニオンを取得しています



詳細は以下をご覧ください

<https://www.nyk.com/sustainability/envi/esg-finance/>

＞グリーンファイナンス

・グリーンファイナンスによる調達資金は、グリーンプロジェクト※¹に充当

(プロジェクトの例) アンモニア燃料アンモニア輸送船

＞トランジションファイナンス

・トランジションファイナンスによる調達資金は、トランジションプロジェクト※²に充当

(プロジェクトの例) LNG 燃料船、LPG 燃料船

※1 グリーンプロジェクト：明確な環境改善効果があるプロジェクト

※2 トランジションプロジェクト：脱炭素化に向けた長期的な移行(トランジション)戦略に則ったプロジェクトを指す

背景

2050年ネット・ゼロエミッション達成の実現には、アンモニアや水素といった次世代燃料の実用化が不可欠です。当社では「2050年に向けた船舶燃料転換シナリオ」に沿って、アンモニア燃料タグボートやアンモニア燃料アンモニア輸送船(2026年竣工目標)の開発を先導するなど、世界に先駆けた船舶脱炭素化への取り組みを進めています。

実効性のある排出削減のためには、ゼロエミッションの次世代燃料船などのプロジェクトに加え、省エネルギーの推進やLNG燃料船の導入などの脱炭素化に向けた移行戦略に沿ったプロジェクトも重要な課題と認識しています。

詳細は以下をご覧ください

P.033 脱炭素

環境認識

日本では2023年5月に、政府の脱炭素戦略を盛り込んだ「脱炭素成長型経済構造への円滑な移行の推進に関する法律(GX※¹推進法)」が成立しました。今後10年間で150兆円を超える官民のGX投資を進めることで、2050年ネット・ゼロエミッションの実現と産業競争力強化・経済成長を同時に実現することを目指しています。

また、同年12月には、GX実現に向けた投資促進策を具体化する「分野別投資戦略」が発表され、これに基づく投資促進策の具体化や、GXリーグ※²の稼働など、「成長志向型カーボンプライシング構想」が進み、企業のGX投資の検討・実行が着実に進展しています。当社グループの事業との関わりでは、「船舶」「水素等」「次世代再エネ(浮体式等洋上風力発電)」「CCS」※³などが重点分野に指定されています。

こうした環境下、グリーン／トランジションファイナンスなどを活用することで、当社グループは、資金調達コストの低減を図りつつ投資を加速することが可能となります。

※1 GX：グリーントランスフォーメーション

※2 GXリーグ：カーボンニュートラル実現と社会変革を目指し、企業や団体が環境への取り組みを発表・共有するプラットフォーム

※3 CCS(Carbon dioxide Capture and Storage)：二酸化炭素(CO₂)回収・貯留

環境

サステナブルファイナンス

方針

戦略とリスク管理

戦略

背景

環境認識

— リスク管理

取り組み

リスク管理

新たな産業・社会構造への転換を促し、持続可能な社会を実現するための金融手法であるサステナブルファイナンスは今後ますますの普及が見込まれる一方で、その一種であるグリーン／トランジションファイナンスなどが活用できない場合、調達計画に基づく適正な規模の調達が困難になるリスクや、競合他社に比して競争力に劣る条件での資金調達を余儀なくされるリスクが生じる可能性があります。そのため当社は、ウェブサイトや統合報告書(NYKレポート)を通じて、国際海運業が果たす脱炭素化への貢献の重要性をステークホルダーの皆さまに積極的に発信し、サステナブルファイナンスを活用した資金調達を推進しています。

取り組み

これまでの実績については、当社ウェブサイト「サステナブルファイナンス」をご参照ください。



詳細は以下をご覧ください

<https://www.nyk.com/sustainability/envi/esg-finance/>